

2027年3月期 第1四半期 決算の概要

2026年7月31日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

証券コード 7327

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

2026年6月期決算 概要

<決算の主なポイント>

◆ FG連結四半期純利益は、前年同期比+48億円の176億円

<銀行単体>

- 銀行単体の四半期純利益は、前年同期比+43億円の162億円
- トップラインであるコア業務粗利益は、前年同期比+69億円の360億円
資金利益は同+39億円、非金利収益（役務取引等利益およびその他業務利益）は同+29億円といずれも増加
- 経費は、賃上げや戦略的投資の増加を主因に、前年同期比+3億円の157億円
- ネット信用コストは、前年同期比▲5億円の▲1億円（戻入）

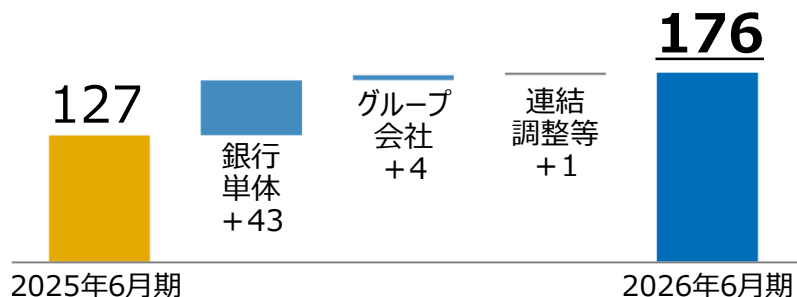
<銀行を除くグループ会社>

- グループ各社の四半期純利益の合計は、前年同期比+4億円の11億円

FG連結 (億円)	2026年6月期 決算	前年同期比	2025年6月期 決算
経常利益	252	77	175
四半期純利益※1	176	48	127

※1 親会社株主に帰属する四半期純利益

<FG連結四半期純利益> 増減要因 (億円)

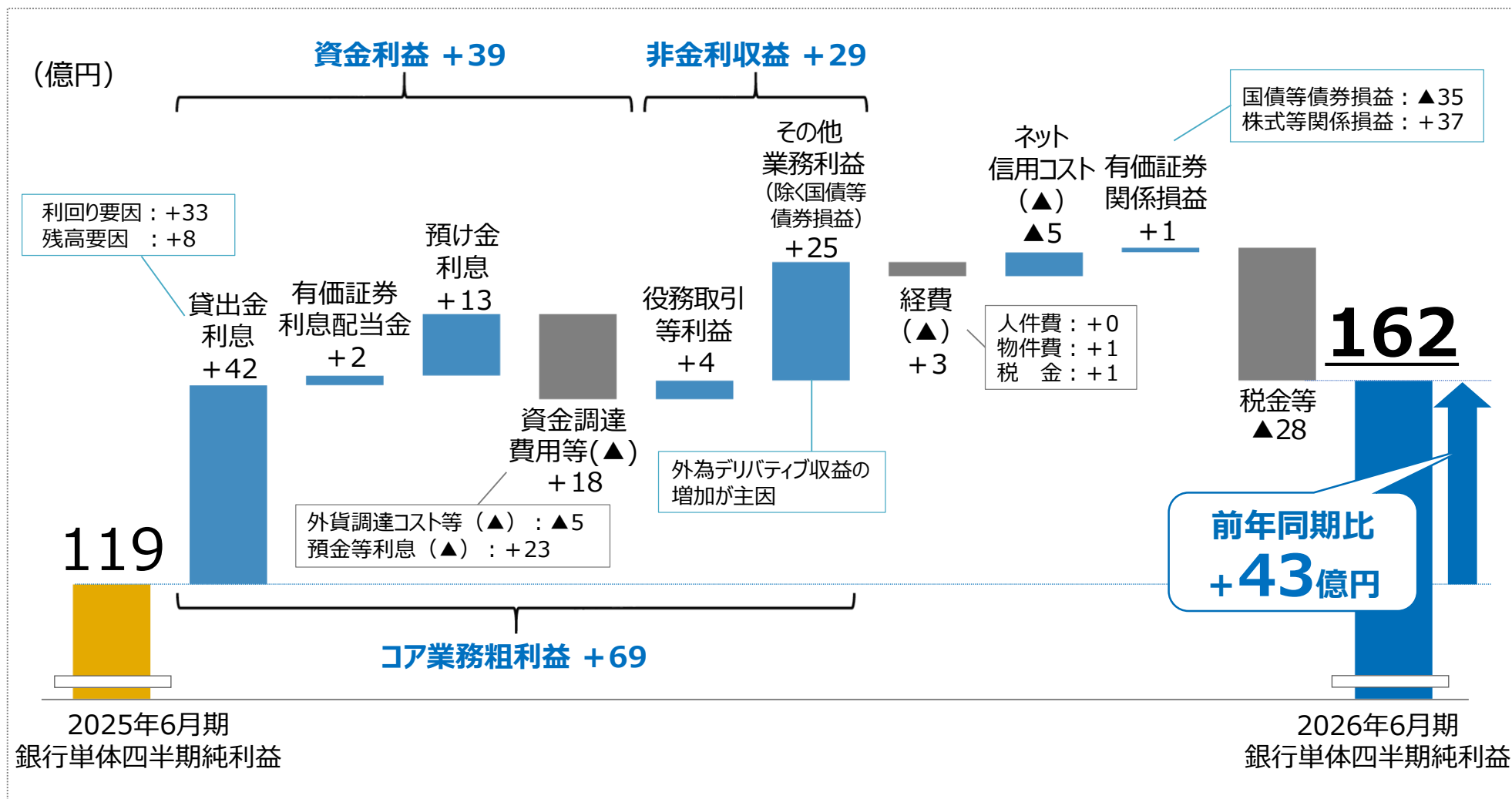


銀行単体 (億円)	2026年6月期 決算	前年同期比	2025年6月期 決算
コア業務粗利益	360	69	290
資金利益	275	39	235
（うち貸出金利息）	203	42	161
（うち有価証券利息配当金）	153	2	151
（うち資金調達費用（▲））	125	13	111
役務取引等利益	43	4	39
その他業務利益（除く国債等債券損益）	41	25	16
経費（▲）	157	3	154
コア業務純益	202	65	136
（除く投資信託解約損益）	188	60	128
経常利益	234	67	167
特別損益	▲0	▲0	0
四半期純利益	162	43	119
<ネット信用コスト（▲）>	▲1	▲5	4
<有価証券関係損益>	24	1	22

銀行除く グループ会社 (億円)	2026年6月期 決算	前年同期比	2025年6月期 決算
四半期純利益※2	11	4	7

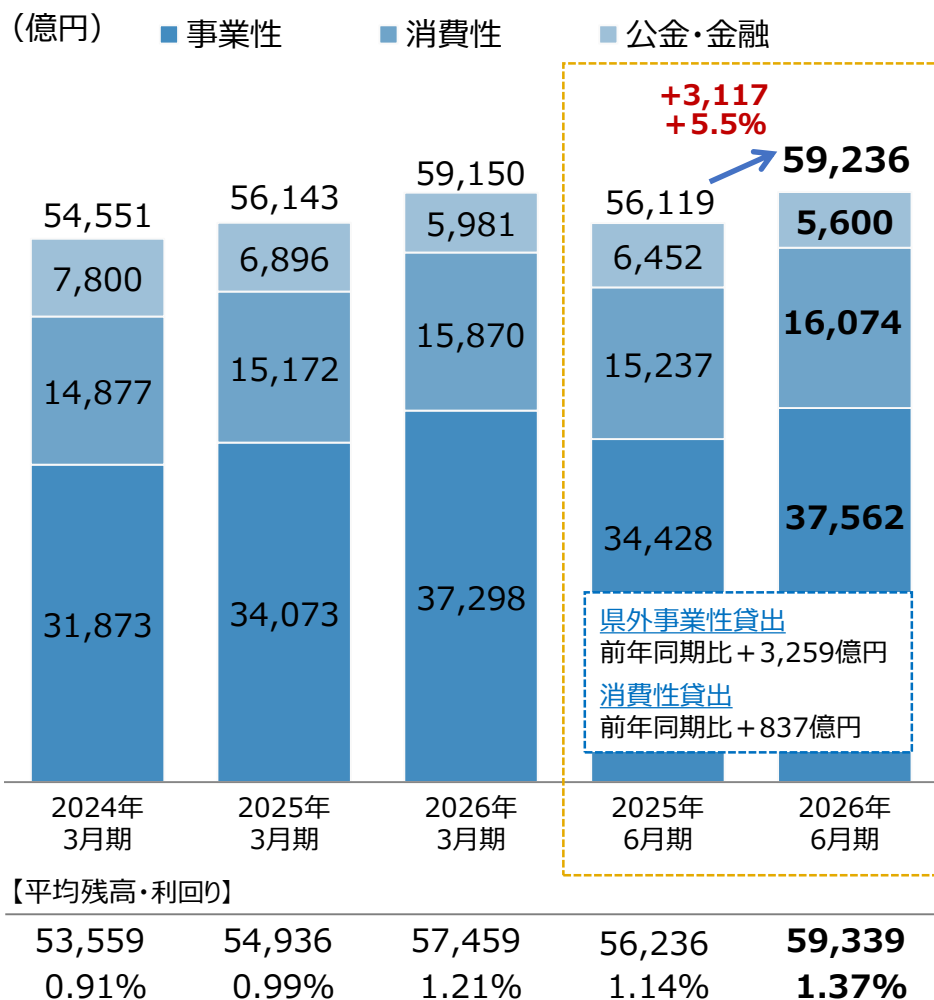
※2 銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する四半期純利益の合計

■ 銀行単体の四半期純利益は、前年同期比 +43億円の162億円

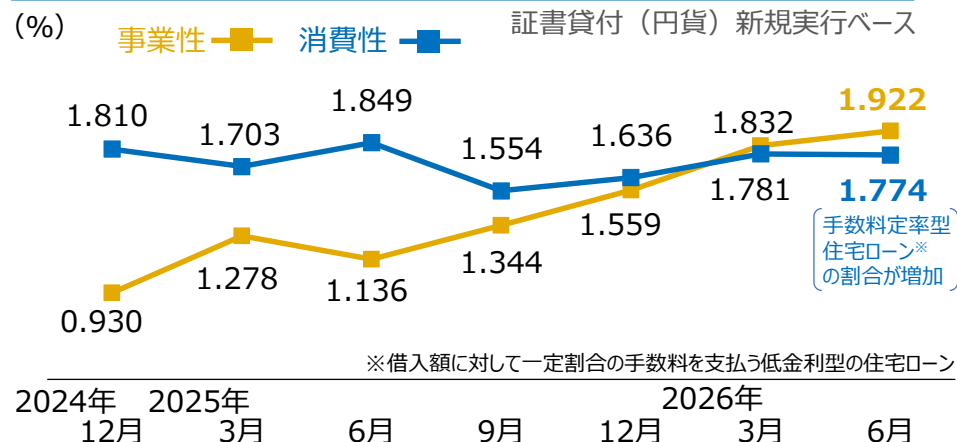


- 貸出金残高（末残）は、県外事業性貸出、消費性貸出の増加を主因に、前年同期比 + 3,117億円
- 貸出金利回りは、市場金利の上昇や短期プライムレートの引き上げにより上昇

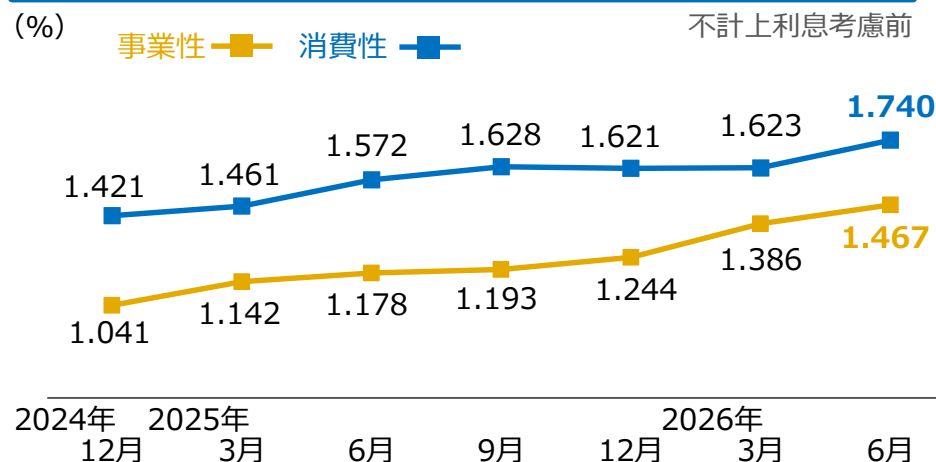
貸出金残高・利回り



新規実行金利の推移

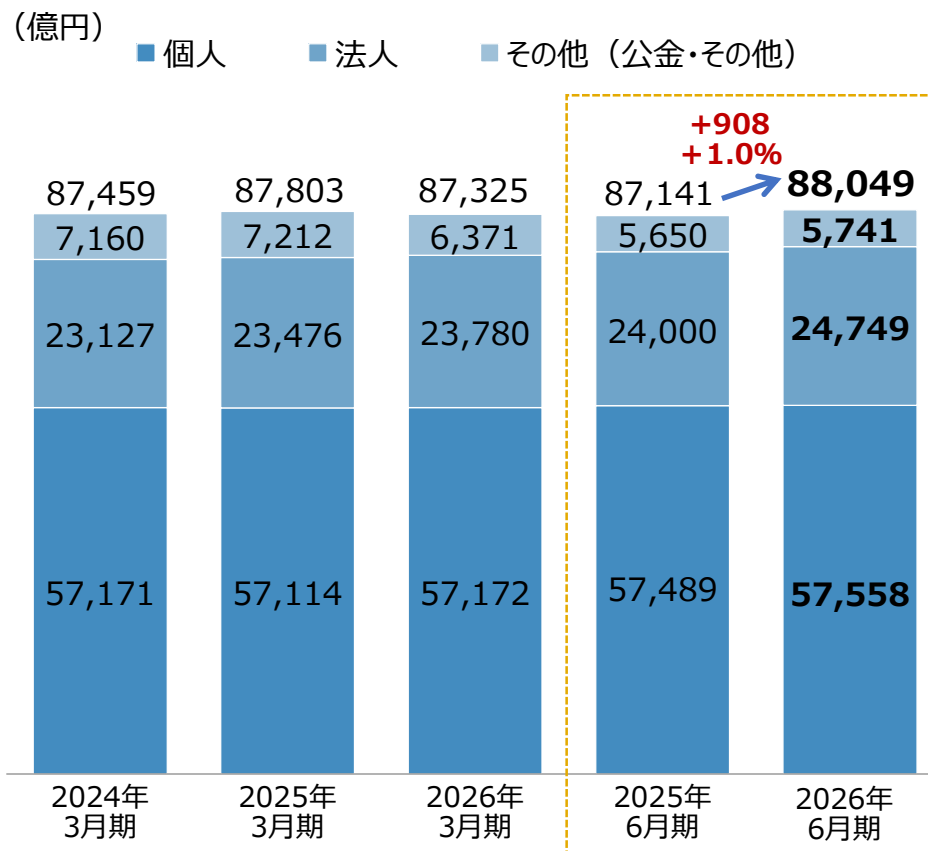


貸出金 平均利回りの推移



- 預金等残高（末残）は、個人・法人・公金等のいずれも増加し、前年同期比+908億円。預金等残高（平残）も増加
- 預かり資産残高（末残）も、保険・投資信託・公共債のいずれも増加

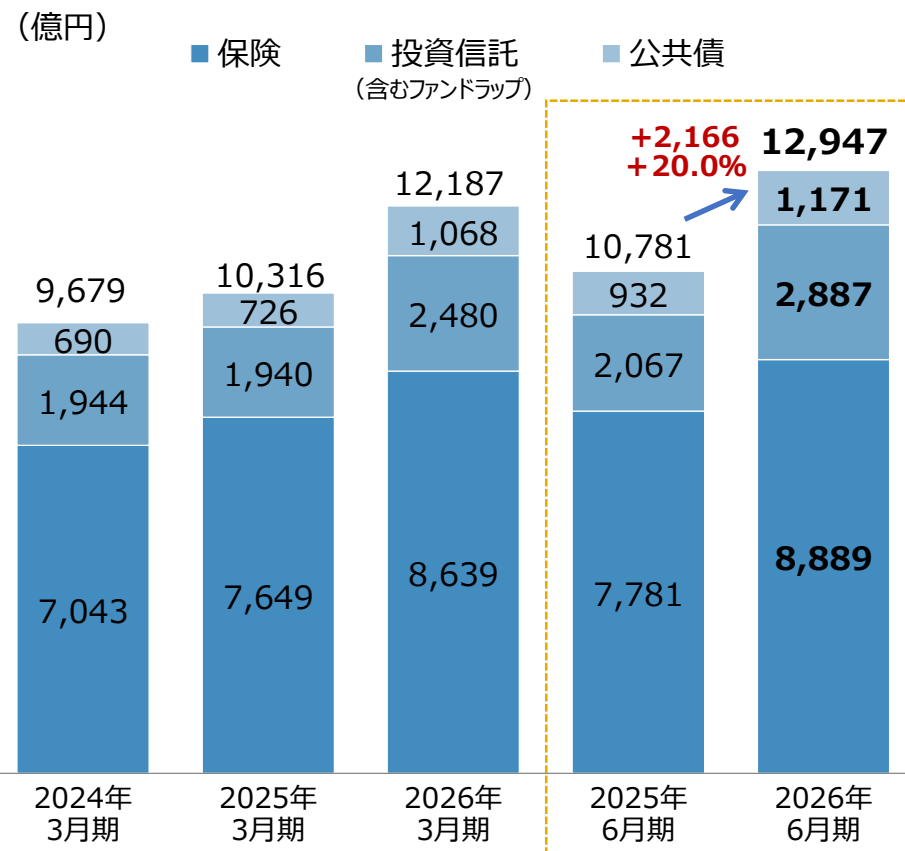
預金等残高（末残）



【平均残高】

期間	平均残高
2024年3月期	85,773
2025年3月期	85,939
2026年3月期	86,056
2025年6月期	87,296
2026年6月期	87,822

預かり資産残高（末残）

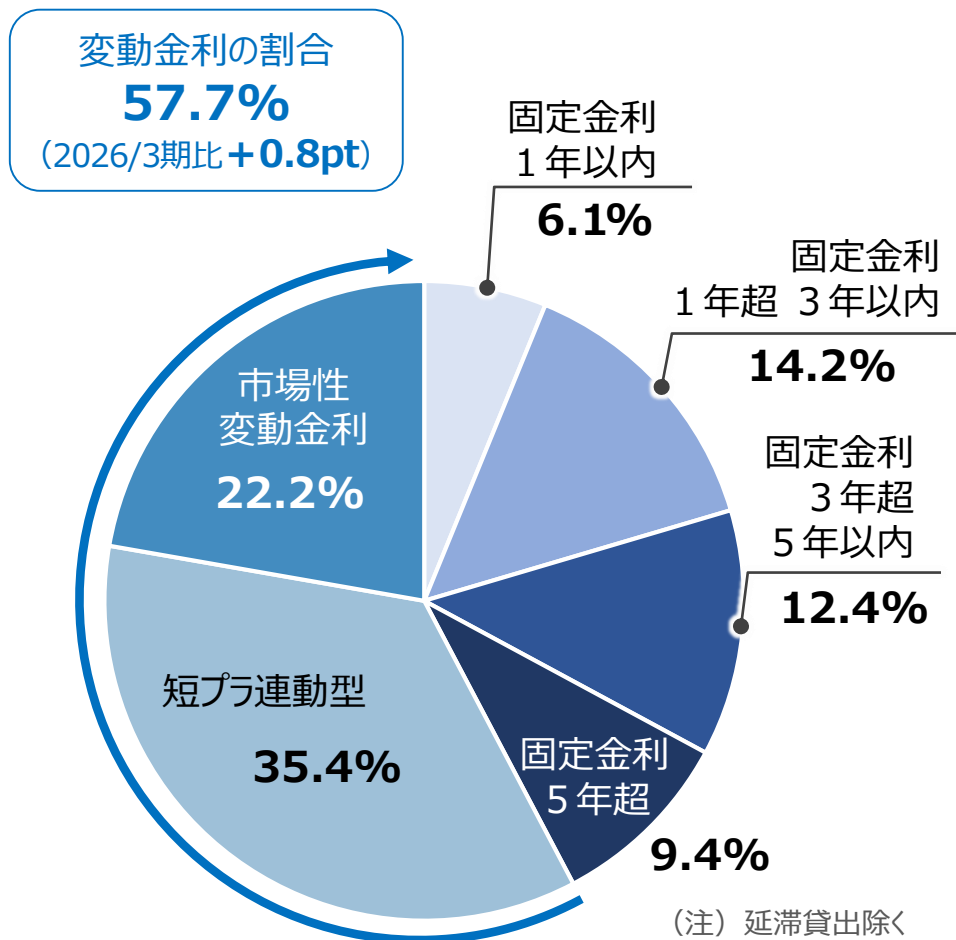


【参考】預金等残高と預かり資産残高の合計（末残）

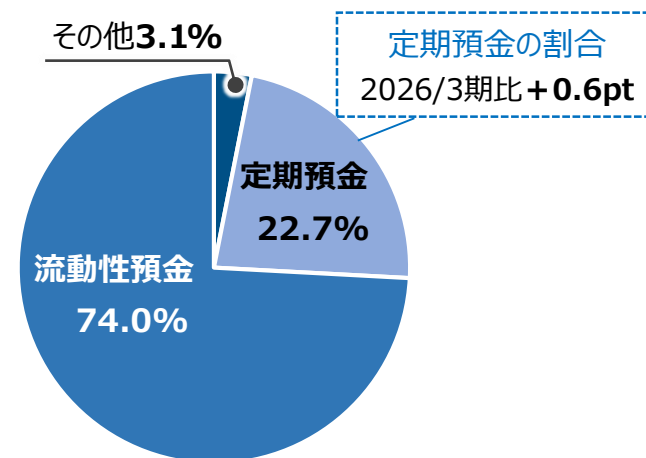
期間	合計（末残）
2024年3月期	97,139
2025年3月期	98,120
2026年3月期	99,512
2025年6月期	97,922
2026年6月期	100,996

- 貸出金全体の変動金利貸出の割合が上昇。預貸金レート差は1.11%（前年同期比+0.12pt）に拡大

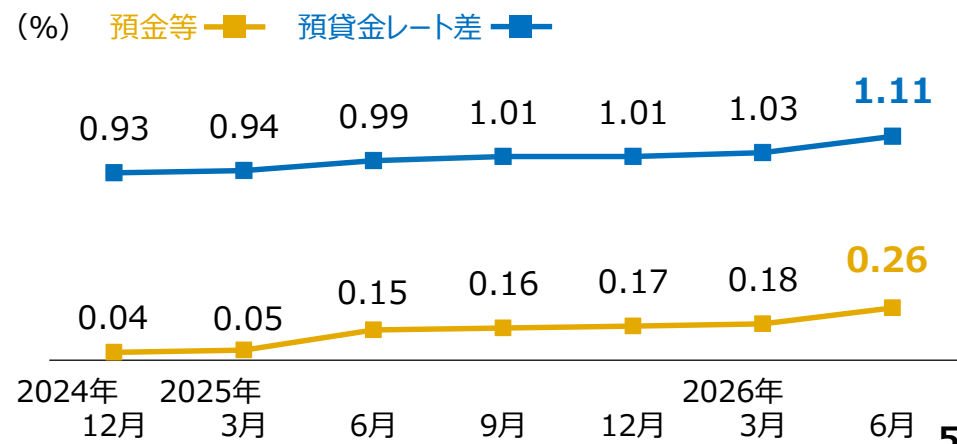
貸出金の構成（貸出金全体） 2026年6月末



預金等の構成 2026年6月末



預金等利回り・預貸金レート差の推移

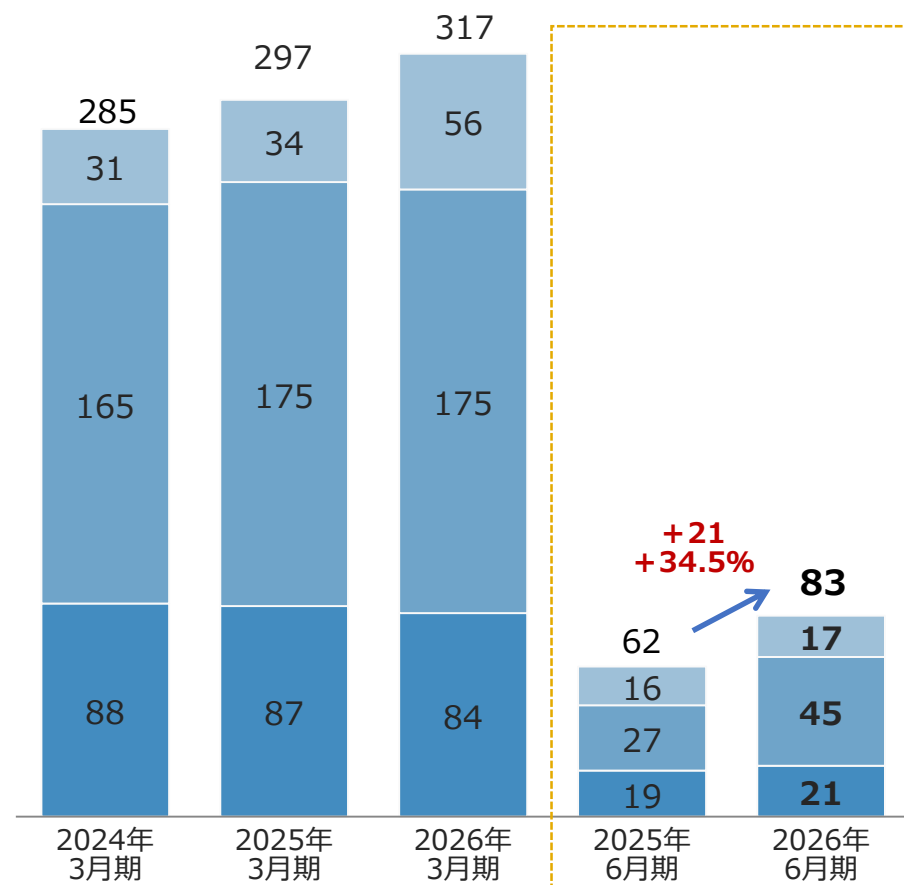


■ 非金利収益（営業部門）は、外為デリバティブ取引の増加を主因に、前年同期比21億円増加の83億円

非金利収益

(億円)

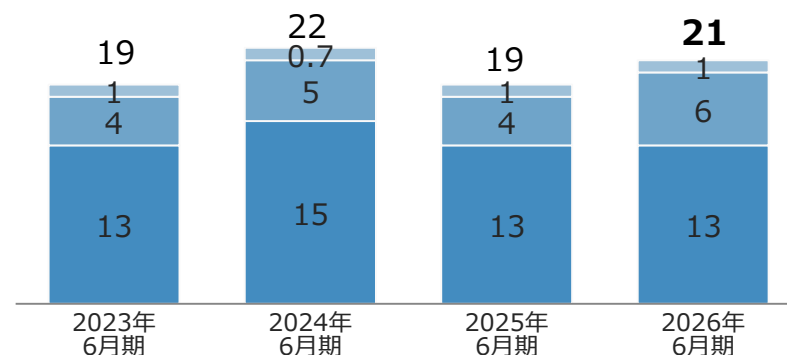
■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他



資産運用アドバイス収益

(億円)

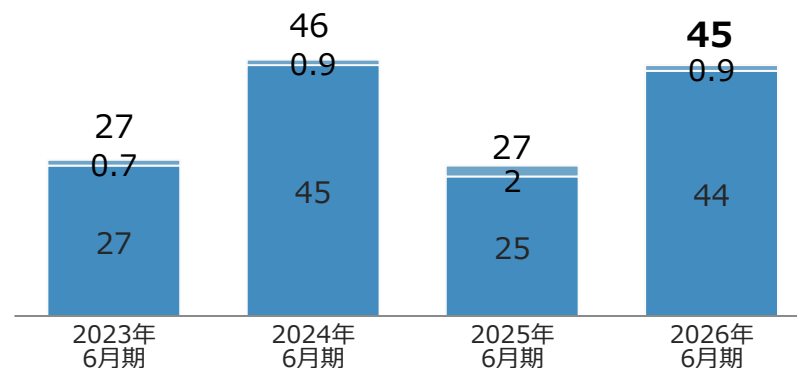
■ 保険 ■ 投資信託 ■ その他



金融ソリューション収益

(億円)

■ エクイティ・ソリューション収益 (M&A・事業承継等)
■ ファイナンシャル・スキーム収益 (シンジケートローン・外為デリバティブ取引等)

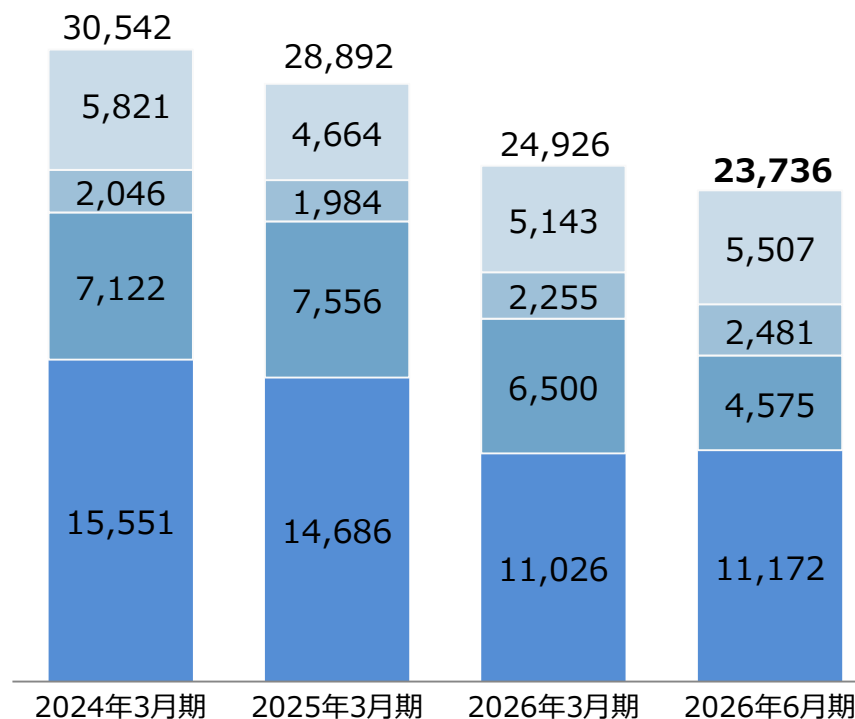


- 低利回り債券の売却と、利回りが上昇した国内債券の購入等により、有価証券利回りは2.66%に上昇
- 有価証券評価損益は2026年3月期比+294億円の1,046億円

有価証券残高（末残）

（億円）

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券



有価証券評価損益

（億円）

繰延ヘッジ考慮後

	2026/3期	2026/6期	2026/3期比
評価損益	752	1,046	+294
国内債券	▲697	▲734	▲36
外国証券	▲9	1	+11
株式	1,253	1,487	+234
その他証券	207	291	+84

有価証券関係損益

（億円）

	2025/6期	2026/6期	前年同期比
① + ②	22	24	+1
①国債等債券損益	▲2	▲38	▲35
②株式等関係損益	25	62	+37

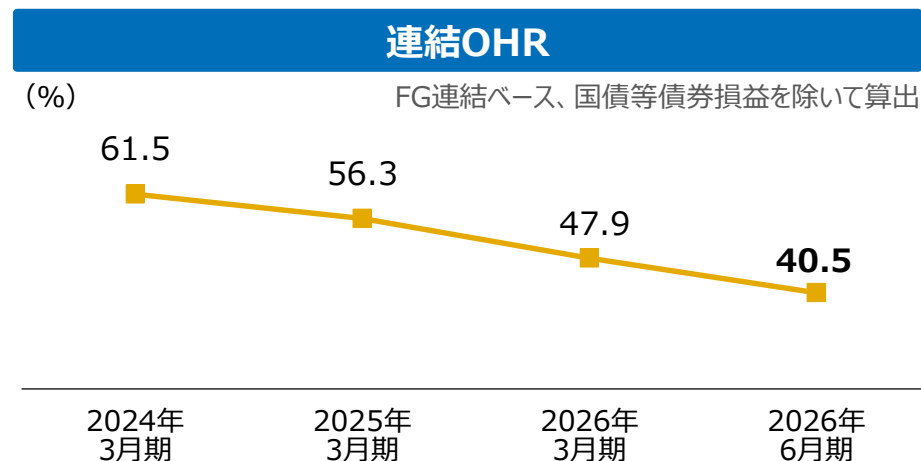
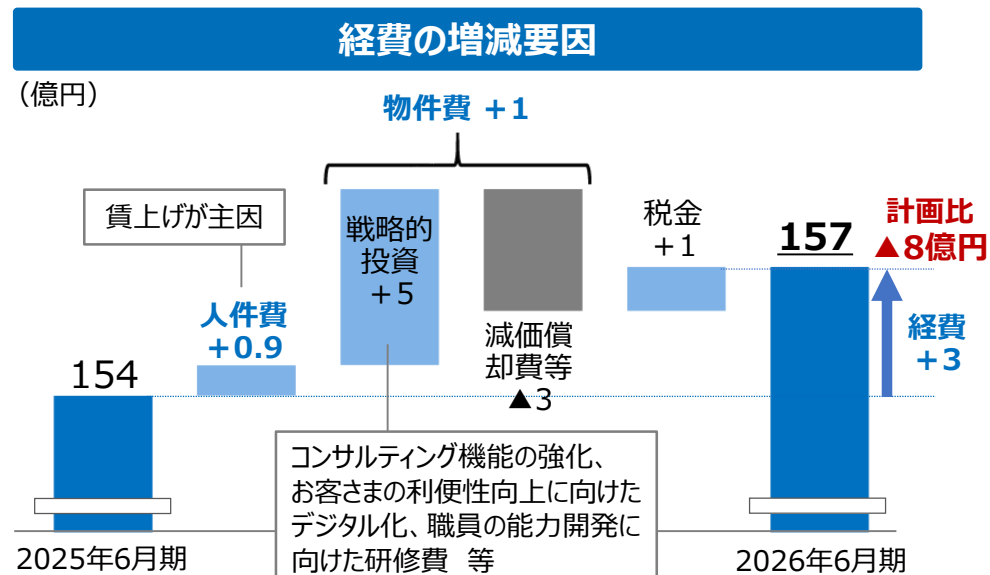
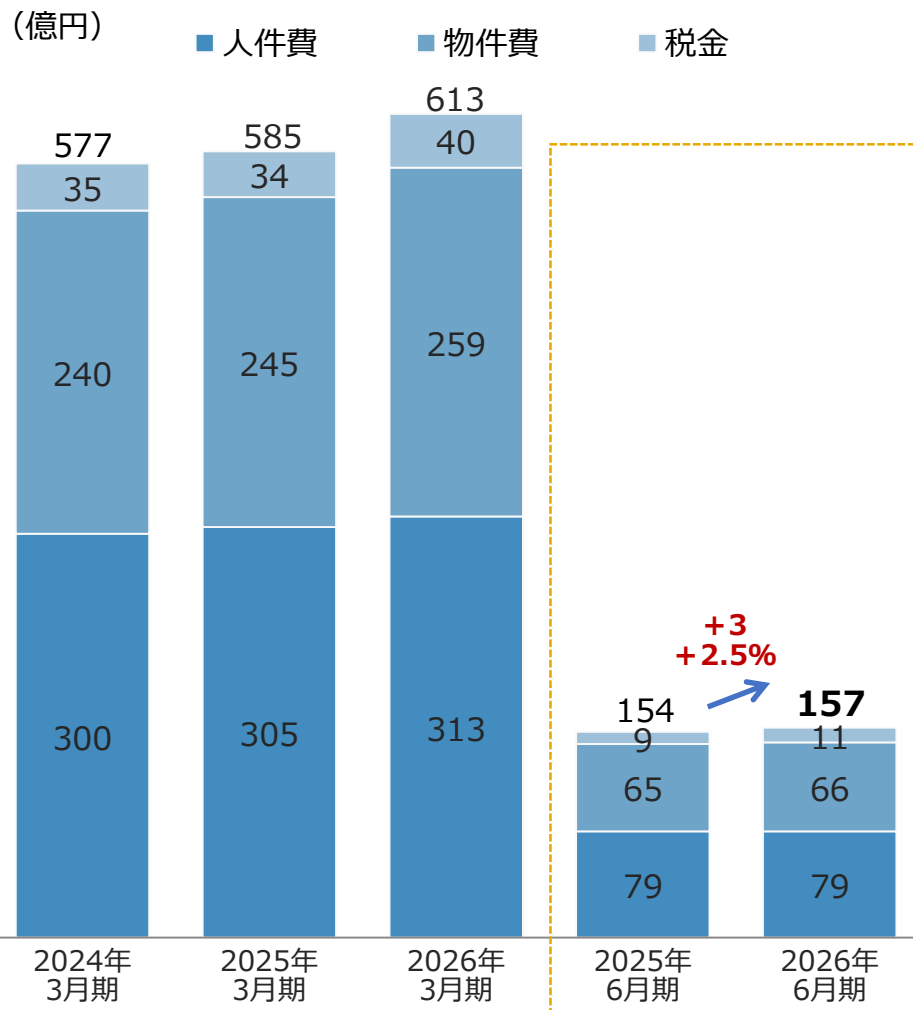
利回り

1.39% 1.58% 2.02% **2.66%**

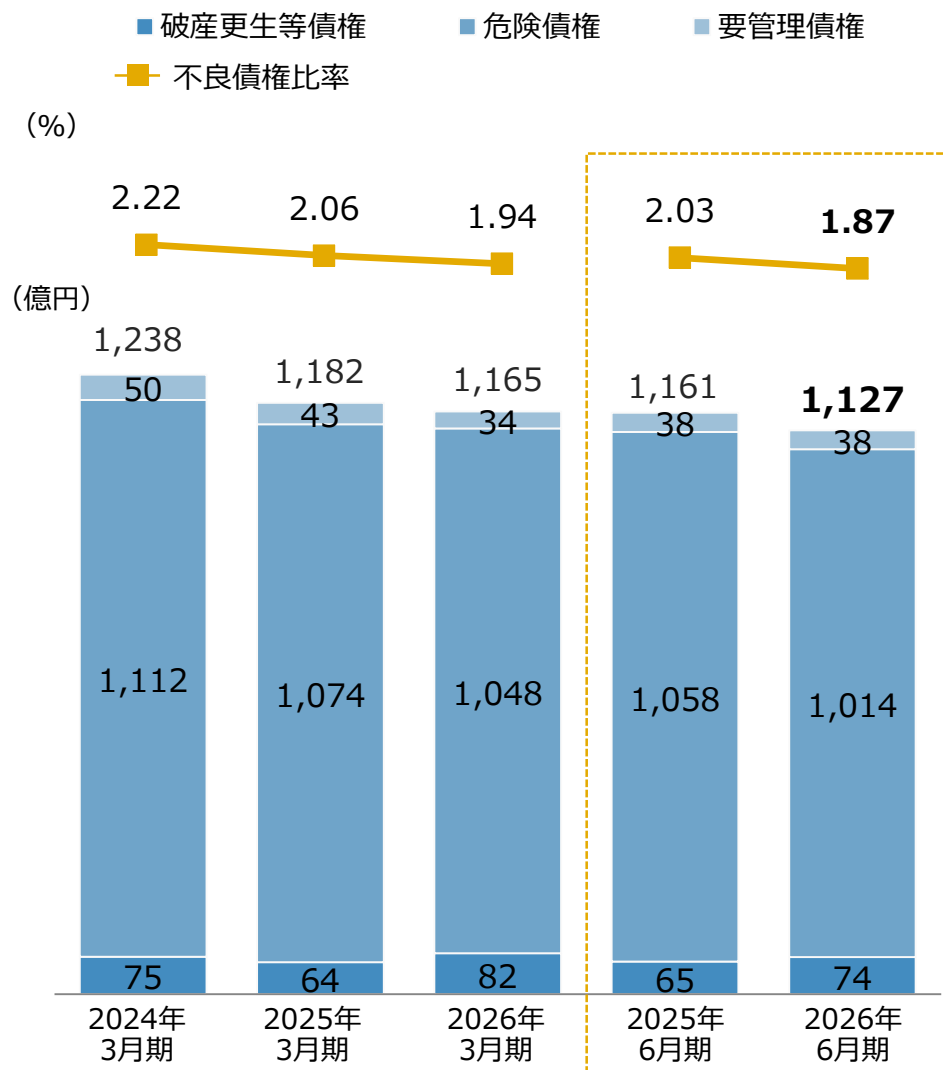
デュレーション

(円債) 4.63年 4.25年 3.72年 **3.71年**
(外債) 2.86年 3.04年 1.29年 **0.85年**

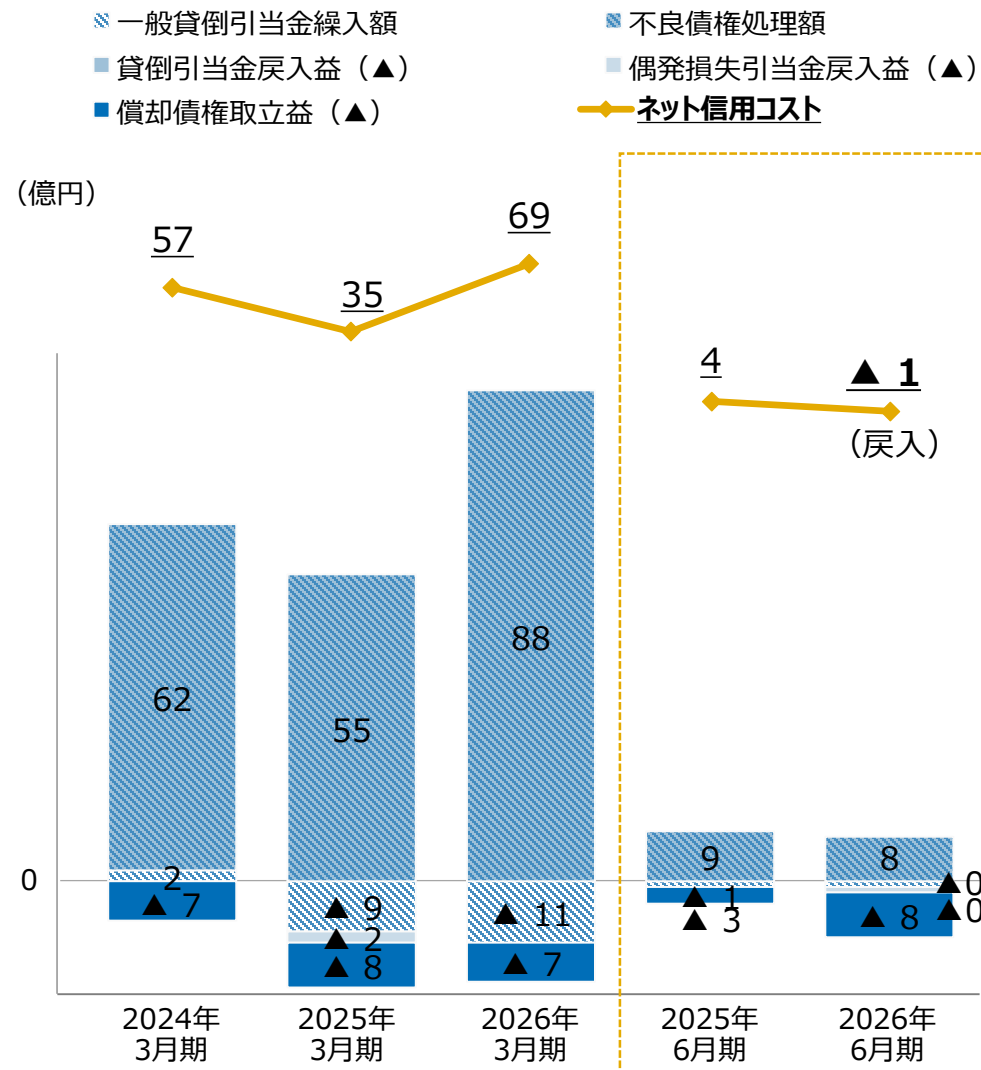
- 経費は、賃上げをはじめ人的資本価値向上に向けた継続的な投資やデジタル分野などへの戦略的投資により前年同期比3億円の増加
- 人的資本価値向上に資する投資については、従来通り年5%以上増加させていく方針



不良債権比率と不良債権額



ネット信用コスト



2027年3月期 中間期・通期業績予想

上方修正



(第三次中期経営計画最終年度)

2027年3月期のFG連結当期純利益を**530**億円へ上方修正

－国内政策金利上げによる資金利益の増加を織り込む－

主な
修正内容

- 2026年5月に公表した業績予想は、国内政策金利の引上げ（0.75%→1.00%）時期を本年12月とする前提で策定。本年6月に利上げが実施されたことを主因に、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が当初予想を上回る見通し
- 今回上方修正した業績予想は、国内政策金利が1.00%で据え置かれる前提であり、今後も金利動向や業績の進捗等を踏まえ、必要に応じて業績予想の修正を実施する

2027年3月期 業績予想 (単位：百万円)		中間期（2026年9月期）			通期（2027年3月期）		
		5月公表 予想	今回修正 予想 (2026.7.31公表)	5月予想比	5月公表 予想	今回修正 予想 (2026.7.31公表)	5月予想比
FG連結	経常利益	36,000	38,800	+ 2,800	73,600	78,000	+ 4,400
	当期（中間）純利益	24,500	26,400	+ 1,900	50,000	53,000	+ 3,000
銀行単体	経常利益	33,500	36,300	+ 2,800	67,600	72,100	+ 4,500
	当期（中間）純利益	22,900	24,900	+ 2,000	46,100	49,200	+ 3,100

2027年3月期の配当予想は5月公表の当初予想比**4円増配の80円** (中間期 同+2円、期末 同+2円)

株主還元方針

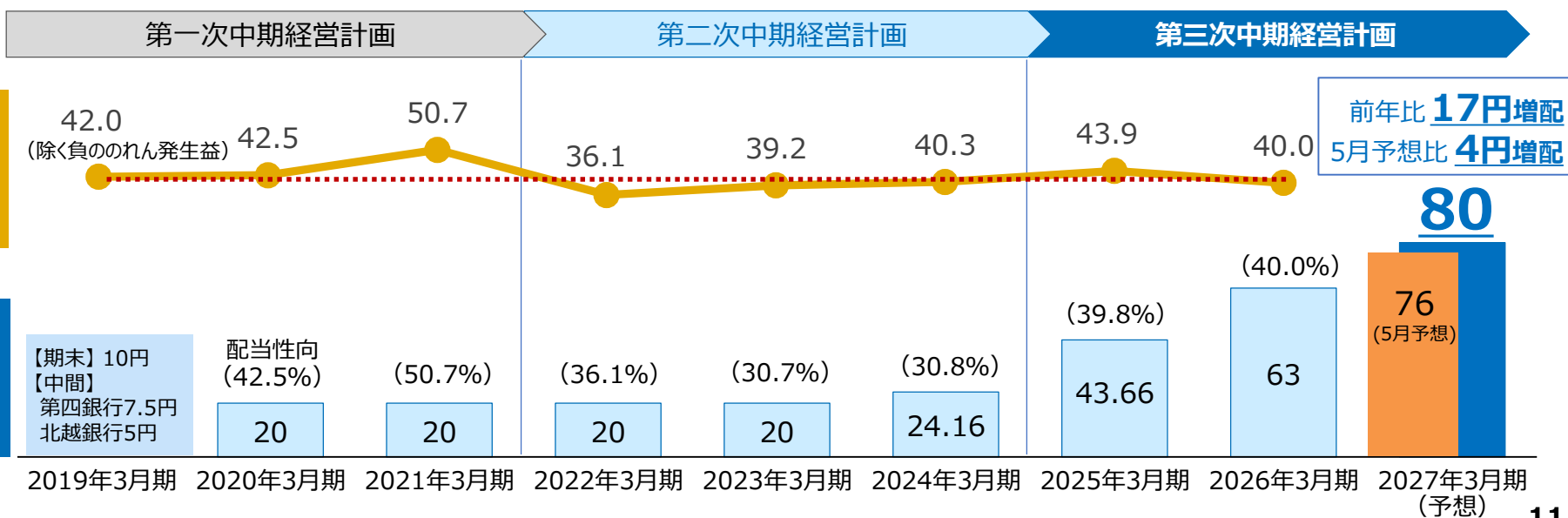
金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

具体的には、**1株当たり配当金は原則として累進的**とし、**配当性向は40%程度**とします。自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に10%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

2027年3月期 配当金予想※

※ 1株当たり配当額（年額）：2024年10月1日および2025年10月1日に実施した株式分割を踏まえ、過去に遡り株式分割後の配当額に換算



(参考) 2027年3月期業績予想の増減要因

上方修正

- 第三次中期経営計画最終年度となる2027年3月期のFG連結当期純利益は、前年比108億円増益の530億円を見込む

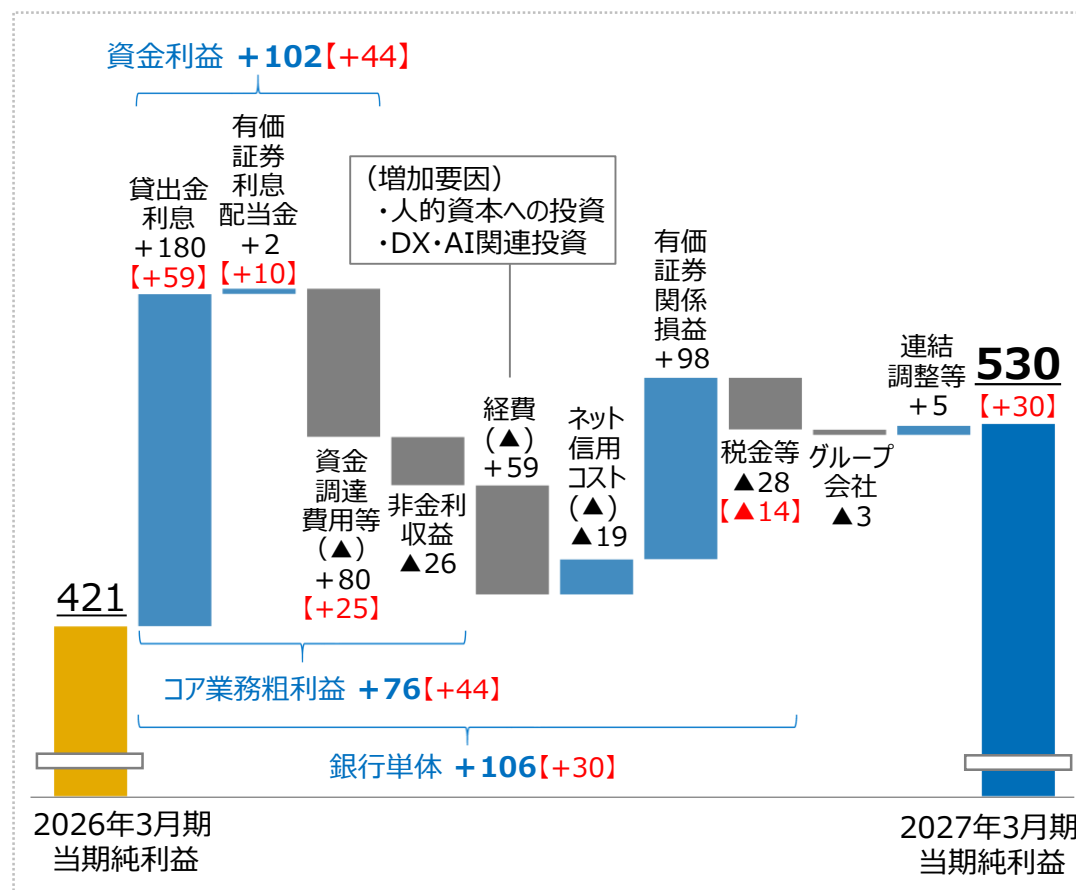
(億円)		
FG連結	2027年3月期 業績予想	前年比
経常利益	780	168
当期純利益※1	530	108

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

銀行単体	2027年3月期 業績予想	前年比
コア業務粗利益	1,286	76
資金利益	998	102
役務取引等利益およびその他業務 利益（除く国債等債券損益）	287	▲26
経費	672	59
人件費	325	12
物件費	297	38
コア業務純益	614	18
経常利益	721	154
当期純利益	492	106
<ネット信用コスト>	50	▲19
<有価証券関係損益>	115	98

銀行を除く グループ会社	2027年3月期 業績予想	前年比
グループ会社収益	36	▲3

<FG連結> 増減要因 (億円)



※括弧内の計数【赤字】は、2026/5公表の当初業績予想からの増減

【金利前提】2026年6月以降、日銀政策金利0.75%→1.00%

(参考) 第三次中期経営計画 経営指標目標

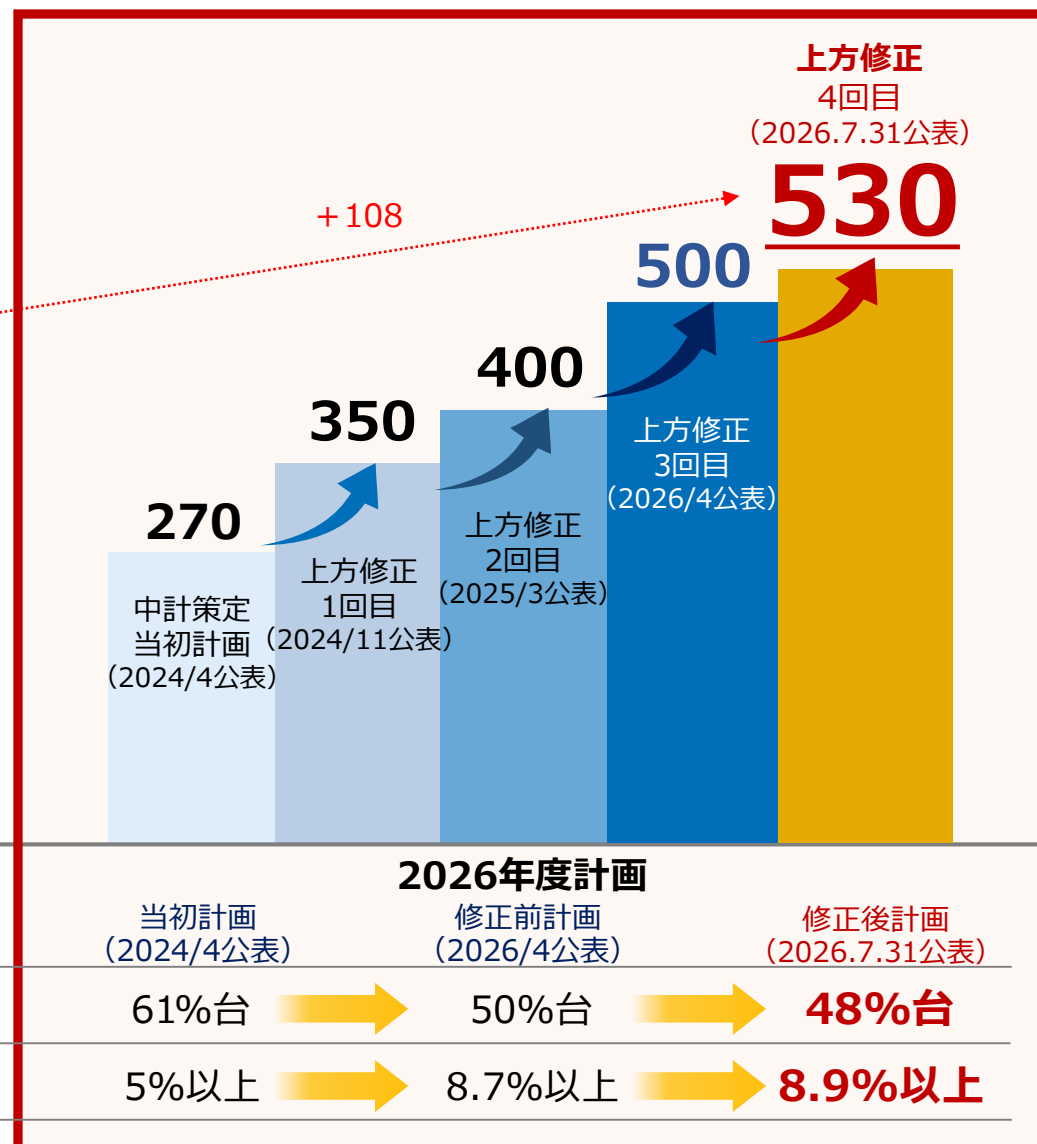
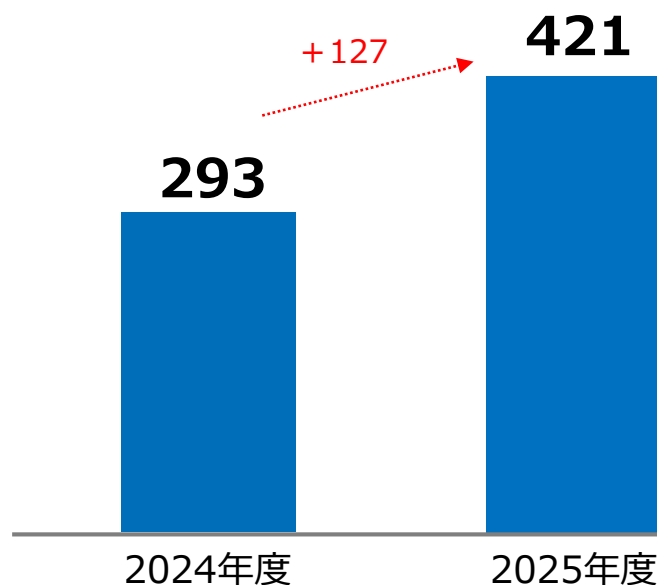
上方修正

第三次中期経営計画 (2024年度～2026年度)

連結当期純利益※1

(億円)

※1 親会社株主に帰属する当期純利益



連結OHR※2

56.3% → 47.9%

連結ROE

5.9% → 8.0%

当初計画 (2024/4公表)	修正前計画 (2026/4公表)	修正後計画 (2026.7.31公表)
61%台	50%台	48%台
5%以上	8.7%以上	8.9%以上

※2 連結粗利益（国債等債券損益を除く）に対する連結営業経費の割合



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

**第四北越フィナンシャルグループ
経営企画部**

T E L 025-224-7111

E-mail g113@dh01.dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。